

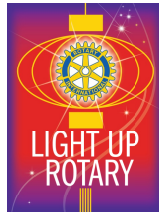
2014-15年度 国際ロータリーテーマ

「ロータリーに輝きを」

RI会長 ゲイリー C.K. ホアン

11月はロータリー財団月間です

国際ロータリー 第2580地区
2014-15年度 ガバナー 鈴木 孝雄



「ひとりひとりの『ロータリー・モメント』を!!!」

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
第43代クラブ会長 比留間 孝司

本日の例会
会員卓話 網代 雅男 会員
酒寄 好夫 会員

第2061回
例会
2014.11.19

次回例会案内【11月26日(水)】
会員卓話 榎本 昭 会員
倉内 淳 会員

第2060回例会報告

(2014年11月12日)

司会 内野 均 SAA (会場運営委員長)

点 鐘

(比留間 孝司 会長)

斉 唱

それぞこそロータリー
ソングリーダー
(志々田 陽介 会員)

会務報告

(比留間 孝司 会長)

- 東久留米ロータリークラブより10周年記念誌「みんなの南沢水辺公園」を頂きました。

幹事報告

(網代 稔 幹事)

- 地区大会の案内
2015年2月16,17日 (詳細は26日の例会日はホストクラブより案内パンフレットがあります)
- 「ローターアクトクラブ例会参加のすすめ」のご案内が届いています。
※ロータリアンに参加して頂きたい例会が添付されています。

出席報告

(後藤 正次 会場運営副委員長)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
34名	29名	93.75%	なし

- 事前メーキャップ
田中 伸彦 会員 (地区委員会)

- 出席免除会員
榎本 昭 会員 栗原 高明 会員

委員会報告

ゴルフ部 (酒寄 好夫 部長)

- 4RC親睦ゴルフにて後藤会員が優勝しました。
当クラブ会員が1位から4位まで入賞しました。
- 11月20日第2580地区懇親ゴルフ決勝大会について
会場 程ヶ谷カントリークラブ
当クラブより7名参加
当日は東村山RCと合同でバスにて送迎

ニコニコBOX

(志々田 陽介 親睦委員)

- ☆比留間孝司会長、網代稔幹事→弦間明様今日のご来会頂き誠に有難うございます。卓話の件よろしくお願ひ申し上げます。
- ☆薄井政光会員→五色市ヶ谷店、イオンモール豊田店がオープンする事になり、また皆様の支援のものと感謝しております。
- ☆波多野稔会員→11月10日のゴルフには比留間一義様には大変のご指導をいただきありがとうございました。
- ☆比留間一義会員→結婚月を祝っていただきありがとうございます。(10月度)
- ☆後藤正次会員→4RCで優勝できました!!ハンディーに恵まれました。

◆ 今回計 28,000円 累計 740,000円



弦間 明 様 (資生堂特別顧問)
「企業ブランド戦略から社会貢献へ」



「企業ブランド戦略から社会貢献へ」弦間 明 様（資生堂特別顧問）

本日は、「資生堂の社会貢献活動とロータリークラブの奉仕活動」と題して30分程度お話をさせていただきます。

私は、化粧品会社である資生堂に勤務し、1997年からは社長として企業経営に当りました。東京ロータリークラブに参加したのは、それから5年前の1992年7月、専務時代でした。2011年度には、東京ロータリーの92代会長を仰せつかり、東日本大震災の復興支援などを経験いたしました。

私の企業人としての活動が、ロータリアンとしての活動と齟齬を生じなかった理由の根源には、資生堂という会社の歴史・文化と企業理念があると考えます。資生堂は、1872（明治5）年、東京・銀座の地で、日本初の洋風調剤薬局として開業し、本年4月8日に創業142年を迎えました。

資生堂薬局の創業者は福原有信という人物で、海軍病院の薬局長でした。有信は、明治維新以降、日本に入ってきた西洋薬剤に粗悪品が多く、しかも法外な値段で販売されていたことを憂っていました。そして、品質の良い薬剤を、正しい処方によって、適正な価格でお客さまに提供したいと願い、明治の新政府が建設した新興商店街である銀座に洋風調剤薬局を開業しました。

海軍病院の薬局長という安定した地位を捨てて、先の見えない事業に乗り出すのは大変なリスクを伴うことで、独立・開業に際しては、多くの同僚や友人から大反対にあったようでした。事実、品質のよい薬剤を適正価格で販売したことによって、開業からしばらくは経営の苦しい状態が続きました。

資生堂という社名は、中国の古典である、四書五経の易経からの一節、「至哉坤元、万物资生（いたれるかなこんげん ばんぶつとりてしょうず）」に由来します。

「地の徳は何と優れていることか、万物はこれをもとに生まれる」という意味です。

このような社会貢献活動を営利活動の中で継続してきた「人々の美と健康に奉仕する」という企業理念をより具体的に表現したものが、1921年に制定した社訓ともいえる「資生堂五大主義」です。

資生堂五大主義は、「品質本位主義」「共存共栄主義」「消費者主義」「堅実主義」「徳義尊重主義」の五つからなっています。90年近く前に考えられたものですが、それぞれに、現在で言うステークホルダー経営やCSR経営の概念を含んでおり、当時としては大変進んだものであったと考えています。

1989年には、この五大主義の精神を引き継ぎつつ、「資生堂は何をもって社会に役立つのか」という企業の使命を明らかにした、新たな企業理念を発表しました。

それは、「私たちは、多くの人々との出会いを通じて、新しく深みのある価値を発見し、美しい生活文化を創造します」

というもので、この企業理念にしたがって、さらに具体的なOur Values、Our Wayを定め、資生堂グループの企業理念体系「MVW」として、

社員一人ひとりが全てのベクトルに合わせ、どのような活動を通じて企業理念を実現していくのかを明確にしています。このような新たな理念から誕生した社会貢献活動の一つが「資生堂ライフクオリティー」です。このプロジェクトは、2つの活動から構成されております。

その一つ目は、顔面や身体の素肌の障がいなどの悩みを化粧品で解消しようとするもので、第二次大戦後、広島・長崎の被爆者の火傷跡やケロイドによる心の苦しみを和らげようという願いから研究が進められています。

二つ目は、高卒社会人に整容を学んでいただくために1949年に始めた「特別美容講座」を発展させたもので、高齢者や障がい者の施設を訪問する「お化粧品ボランティア」を推進し、「美と健康を通じて社会のお役に立つ」という当社の理念に基づき、グローバルでも展開しています。

いうまでもなく、企業は社会と人々を豊かにする「社会の公器」であります。その存在意義が社会から認められなければ、市場からの退場を余儀なくされて消滅します。企業の利益は、社会的に意義ある活動を永続的に行うために必要なものでなければなりません。

資生堂では、そのような「公器」としての企業のありかたが、創業以来の企業理念に盛り込まれているため、営利活動と、企業による社会貢献活動が矛盾なく両立してきたといえるのではないかと考えています。

さて、私自身のことを振り返れば、取締役会メンバーになった頃から、企業の存在意義や使命についてより深く考えるようになってきました。高度経済成長期を過ぎた日本の産業会社の行く末を考えたとき、これまでの延長線上で事業を考えても立ち行かなくなることは明らかでした。

そこで、次の企業活動の資源となる自然環境の保全や、未来の消費者であり働き手である人材の育成など、社会との共生、社会への貢献が企業の「サステナビリティ」のカギであるということを考えざるを得なかったのです。

社会貢献活動を意識し、個人として、職業人として「どのような社会奉仕ができるだろうか」と考えたのがロータリークラブへの入会のきっかけとなりました。

そこで諸先輩方から教えていただいた、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」というロータリーの4つの奉仕活動は、まさにそれまでの私の問題意識と重なるどころがあり、納得して奉仕活動に参加することができました。

私は、これまでの二十年強のロータリアンとしての奉仕活動を通じ、ささやかではありますが社会奉仕につとめて参りました。しかし、営利企業でさえも、このように社会性を軸にした変革が始まりましたので、奉仕活動を通じて自分自身が得た人間形成というメリットに見合うように、これからはもっともっと多くのものを社会にお返ししなければならぬと考えています。

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日

◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ

◎ 会長 比留間 孝司 ◎ 幹事 網代 稔

○ 副会長 宮崎 茂夫 ○ 副幹事 倉内 淳

□ クラブ会報委員長 松村 慎一 副委員長 網代 雅男

委員 原田友義、薄井政光、波多野晃夫、比留間一義

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階

〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1

◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30

◇ クラブ事務局

〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1

TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252

Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp